

## 分子構造から学ぶ空気実験！

NPO法人わんぱーくでは、森林環境税公募事業の助成を受け、11月14日(土)野方地区活性化センターにおいて『森林と空気分子構造から学ぶ空気実験』を実施しました。この実験には鹿児島大学生涯教育研究センター松野教授らのグループが支援の下、参加した子どもたちは、ビールの空き缶がつぶれたり、マシュマロが大きくなったり、水槽の中で一升びんが水を吸い上げる等の空気実験に驚きの連続でした。

このあと参加者全員で分子の模型を作り、空気の不思議、科学の面白さに触れていました。



## ノルディックウォーキング！

11月15日(日)おおさき観光案内所が主催する、ノルディックウォーキング大会が行なわれました。

当日は、くのにの松原内にある特設コース3kmをウォーキングしました。

フィンランドが発祥のポールを利用した、このウォーキングは、現在、幅広い注目を集めています。

ポールを利用することによってエネルギー消費量が通常のウォーキングに比べて20%上昇するといわれています。きちんと運動をしてダイエットをしたいと考えている方や、メタボリックシンドローム対策をしたい方、健康維持のためにと考えている方すべての方におすすめです。



## からいも収穫祭！

11月15日(日)伝統的な行事、郷土食を体験習得するため、大崎町伝統文化子供教室が開催されました。この事業は(財)伝統文化活性化国民協会の助成を受けて実施したもので、6月に植えたからいもの収穫を体験しました。子ども達は、つるに連なる芋を引き上げ、一生懸命作業に取り組んでいました。

作業後は、天然のこんにゃく芋を使ったこんにゃく作り体験でしたが、こんにゃく芋を初めてみる子どもたちも多く、江戸時代から作られ芭蕉の句にも歌われ歴史ある伝統食であるとの話に耳を傾けながら、皮むきや練り作業に熱中していました。



## 持留地区で防災訓練！



11月15日(日)持留地区で防災訓練が実施されました。

訓練は、集中豪雨により土砂災害が発生する危険が強まったことを想定して、避難訓練や応急担架搬送訓練が行なわれました。

参加者の多くは、応急担架の作り方やロープを使った訓練は初めての体験でしたが、いつ起こるかわからない災害から被害を最小限に防ごうと、熱心に消防署員の話に耳を傾けていました。

訓練終了後は、南部消防署によるAEDの説明や火災警報器の設置の仕方の説明が行なわれ、参加者は、地域の防災力を高めることを誓いました。